



日立一高ラグビー部OB会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>
(フェイスブック「日立一高ラグビー部」も開設)

【令和元年度を振り返って】

○ 31年ぶりの全国大会県予選決勝進出！！

新チーム結成後も、新人戦2年連続準優勝！！ 関東新人大会にも2年連続で出場！！

令和元年度全国大会茨城県予選



10月28日(月) 【準々決勝】 41 - 0 (前半 29-0、後半 12-0) vs. 合同A
 11月 3日(日) 【準決勝】 36 - 12 (前半 15-5、後半 21-7) vs. 東洋大牛久
 11月17日(日) 【決勝】 0 - 95 (前半 0-43、後半 0-52) vs. 茗溪学園

第99回全国高校ラグビーフットボール大会茨城県予選は、関東大会県予選の結果(準優勝)が反映されて第2シードとなり、準々決勝からの出場となりました。

準々決勝は合同A(下館工業、下館第二、守谷)との対戦。7本のトライ中6本をFWが奪うなどFWで圧倒し、41-0と順当に3大会連続の準決勝進出を決定

準決勝は、清真学園を26-17で破り意気上がる東洋大牛久との対戦。攻守ともに粘り強い牛久に2トライを喫するなど苦戦しましたが、総合力で上回り36-12と下して31年ぶりの全国大会県予選決勝進出を果たしました。

いよいよ決勝戦は、35年ぶりの全国大会出場をかけて、水戸ケーズデンキスタジアムで茗溪学園と対戦

各地から集結したOBや父母に加えてサッカー部の友情応援の大歓声を受け、試合開始直後から果敢にアタック！ディフェンスでも前に出るタックルで茗溪のBKを苦しめ、前半の前半は五角の戦いとなりました。

しかし、前半途中から徐々に引出しの数の違いが表れ、TBライン裏へのハイバントの多用などで陣形を乱され、風下の不利もあってトライを重ねられました。

後半もスクラム・ラインアウトなどセットプレイは互角に渡り合うものの、スピードに乗りつつ微妙にポイントをずらしてくる茗溪学園にタックルポイントを外され、或いは強引にタックルを振りほどかれ、トライを重ねられます。

試合終了間際、FWが怒涛のラッシュで敵陣深く攻め込み、渾身のサイドアタックでインゴールを割ったかに見えましたが、惜しくもグラウンディングを認められず...ノーサイド

終わってみれば0-95と大差が開きましたが、部員一丸となって全力を尽くし完全燃焼するとともに、先発15人中11人を占める1・2年生たちの、来シーズンの活躍を期待させるナイスゲームでした。

新人戦



1月13日(火) 【準々決勝】 33-19 (前半 7-7、後半 26-12) vs. 東洋大牛久
 1月19日(日) 【準決勝】 64-5 (前半 31-0、後半 33-5) vs. つくば秀英
 1月25日(土) 【決勝】 7-94 (前半 0-61、後半 7-33) vs. 茗溪学園

第1戦は準々決勝からで、前年秋の全国大会県予選準決勝で36-12と辛勝している東洋大牛久との対戦
 この試合「タックルは悪くなかったがペナルティが多すぎてリズムが作れなかった。」と評されており、レフリー
 どのコミュニケーションを含めて、今後の課題を残しました。

第2戦は準決勝、お互い新チームにつき手の内が分からず、試合前はやや不安もありましたが、蓋を開けてみれば
 64-5の快勝!! FW・BKがバランスよく得点し、決勝戦に向けて期待を抱かせる結果となりました。

決勝は、4大会連続で茗溪学園との対戦。今回も山は動きませんでした。試合ごとに僅かながら失点は少なくな
 っており、何よりもたぶん8年ぶりに茗溪学園からトライを奪うこともでき、「十分戦える!」ことが実感できた
 大会となりました。

関東新人大会

新人戦で準優勝した日立一高は、2年連続で関東新人大会に出場しました。(於: 栃木県総合運動公園)

2月15日(土) 7-63 (前半0-14、後半7-49) vs. 日川高校(山梨県1位)

日川高校は、全国大会出場45回、うちベスト4進出8回を誇る強豪校です。前半は2:8でボールを支配されな
 がらも魂のこもったタックルで2トライに押さえ、最後まで切れることなく60分間を戦い抜きました。



【令和2年度上期】

○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため長期臨時休校と部活動の長期休止!!

関東大会県予選 ・ 関東大会本大会 ・ 全国7人制大会県予選

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3大会とも中止

大会中止だけでなく、3月2日(月)~24日(火)と4月14日(火)~5月31日(日)の2回に亘り学校
 自体が臨時休校となったため、部活動も休止し、試験明けの6月11日(木)から段階的に活動を再開しました。

8月11日(火)~16日(日)は学校閉庁、17日(月)~24日(月)が夏休みで、25日(火)から学
 校再開と、夏季休業が大幅に短縮されるなど、コロナ禍は高校生活に大きな影響を及ぼしました。

○ 附属中ラグビー部の顧問の先生が替わりました。

平成26年度から6年間、附属中ラグビー部を手塩にかけて指導されてきた根本伸一先生（OB：昭和62年度・第40回卒）が4月1日付けの人事異動で日立市立多賀中学校に転任され、後任として日立市立日高中学校から大久保博紀先生が着任されました。

根本先生は、着任2年目の平成27年度から5年連続で附属中を関東大会に出場させるとともに、多くの卒業生を日立一高ラグビー部に送り込み、一高ラグビー部の復活に大きく尽力されました。

大久保先生は数学科の先生で、前任校ではバスケットボール部の顧問を務めていらっしゃいました。4月の着任当初はコロナ禍で活動・指導ができませんでしたが、6月の活動再開後は、OBとの協力体制の下、精力的に指導に励まれています。

ここで、お二人から退任・新任の御挨拶をいただきます。

「新任の御挨拶」 大久保 博紀 新顧問

令和2年4月1日付の人事異動で、日立市立日高中学校より日立第一高等学校附属中学校へ赴任しました、大久保博紀と申します。

これまでの部活動では、バスケットボールなどの顧問をしてきました。

私自身がラグビーについての経験が全然ないため、赴任当初から前任の根本伸一先生にご指導をいただいたり、附属中ラグビー部保護者様や日立第一高等学校ラグビー部OBの皆様からご支援をいただいたりしているところです。

今後は、私自身がラグビーのルールや指導法などを勉強しながら、生徒の育成に取り組んでいきたいと思っております。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響は、ラグビー部の活動にも影響が出ています。生徒の安全と健康を第一に考え、感染症対策などを生徒に伝えて実践していこうと思っております。

今後ともよろしくお願いたします。



「退任の御挨拶」 根本 伸一 前顧問

日立一高ラグビー部OBの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、4月の定期人事異動に伴い、日立一高附属中学校での6年間の勤務を終え日立市立多賀中学校へ転属となりました。附属中ラグビー部在任中は、OBの方々、保護者の皆様、ラグビー関係者の方々から、たくさんの励ましやご支援をいただき、幸せな毎日を過ごさせていただきました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

思い返せば、附属中ラグビー部顧問に就任してからの6年間は、毎日が楽しく充実していて、あっという間の出来事だったと思います。就任当初から日立一高ラグビー部を支えるための部員養成が自分の使命と考え、中学生にラグビーの楽しさと素晴らしさを伝えるよう努力してきました。

部員たちと桐木田広場で行う部活の時間は本当に、OB会からの手厚い支援の下、充実した日々を過ごさせていただきました。高校時代の恩返しをするはずだったのに、気がつけばさらにOBの方々からご支援をいただいて甘えてしまったなど反省する日々です。そして今回も私の退任を知り、OB会が部員への指導・支援を呼びかけてくださり、毎週たくさんのOBの方々から桐木田広場に足を運んでくださっています。この組織力と行動力、そして「For The Team」の精神をもつ日立一高ラグビー部OB会の一員であることを心から誇りに思います。

附属中ラグビー部は、就任1年目のみ単独チームで公式戦を戦えましたが、2年目からは部員数不足のため清真学園中学校と合同チームを組まなければ大会に出場できない状況が続き、安定した部員数を確保できなかったことは私の不徳の致すところと猛省しております。

合同チームでの試合に出場する際、当然、合同チーム用のユニフォームを着用します。白にバラの透かしをデザインしたユニフォームは他県からの評判が良く、決して見劣りするものではありませんでした、やはり私は附属中のファーストジャージである、高校生と同じデザインの黒のユニフォームを着てプレーする部員たちを見たいなと思っ



ていました。ですから、日立一高ラグビー部創部70周年での佐野高校中等部とのゲームで、部員たちが黒のユニフォームを身にまとい、縦横無尽に駆け抜けた試合は私にとって忘れることのできない思い出の一つです

ずっと附属中ラグビー部の顧問を続けていきたいという思いでいただけに、今回の異動は本当に無念ではありますが、これからは一高ラグビー部OBとして、諸先輩方同様、微力ではありますが部員たちへの指導・支援を続けていきたいと思えます。

6年間、本当にありがとうございました。そしてこれからも日立一高ラグビー部の発展のため、附属中ラグビー部へのご支援をよろしくお願いいたします。

○ 令和2年度 学年幹事会はオンラインによる役員会で代替

例年、7月上旬にOB会の学年幹事会（総会に代わる審議・議決機関）を開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの感染防止に配慮して開催を自粛、代わりに7月11日（土）午後7時からオンライン（Zoom）による臨時役員会を開催しました。

議案は、令和元年度の事業報告と決算報告、令和2年度の事業計画（案）と予算（案）、さらには役員の改選年につき役員改選（案）でしたが、すべて原案どおり承認されました。

今回は、初めての試みなので、どうなることか、やや不安もありましたが、会議後のオンライン懇親会も含めて、円滑かつ和やかに進めることができました。

会議の取りまとめをお願いした益子副会長をはじめ、参加者の皆様には事前準備（アプリのダウンロードなど）を含めて大変お世話になりました。ご協力ありがとうございました。

1. 令和元年度活動及び決算報告

（単位：千円）

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	50	67	+17	
2) OB会報発行	170	170	0	10月に第22号を発行
3) 各大会への資金援助	240	290	+50	関東新人大会、関東大会を含む。
4) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	例年同額
5) 菅平へのOB派遣補助	60	68	+8	ガソリン代補助・現地差入を含む。
6) ミニ合宿への資金援助	50	43	-7	日程の都合で激励会を実施
7) ゴルフコンペの開催	10	8	-2	通知発送等
8) 蹴初め等の交流親睦行事	80	66	-14	3年生を送る会はコロナ対応で中止
9) 慶弔費	20	0	-20	OB関係の葬儀等なし
10) 事務費	30	28	-2	郵送・コピー代、振込手数料等
11) 高校生活動費支援	200	150	-50	強化練習実施・差入等
12) 附属中活動費支援	150	100	-50	新入生ジャージ等
13) 応援グッズ等作成	0	138	+138	ウォームアップ Tシャツ、勧誘チラシ等
14) RWC2019 観戦ツアー	0	276	+276	48人参加、埼玉県熊谷ラグビー場
15) 附属中部旗作成	0	85	+85	高校との関東大会W出場につき
16) その他	50	38	-12	講演・練習会、父母会との交流等
計	1,160	1,577	+417	

2. 令和元年度 主な収入の状況

（単位：円）

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和元年度予算	700,000	150人	260,000	14件	960,000
〃 決算	746,000	127人	216,000	13件	(100.2%) 962,000

※上記のほか、関東大会出場緊急カンパで283千円が加算

3. 令和2年度 事業計画及び予算(案)

(単位:千円)

	R元 決算	R2 予算	内 容
1) 学年幹事会	67	0	コロナ感染防止のため開催せず
2) OB会報発行	170	170	10月に第23号を発行予定
3) 各大会への資金援助	290	190	関東大会予選・本大会とも中止
4) 菅平遠征への資金援助	50	0	夏休み短縮につき菅平合宿中止
5) 菅平へのOB派遣補助	68	0	〃
6) ミニ合宿・激励会等補助	43	50	
7) ゴルフコンペの開催	8	10	開催通知等
8) OB間の交流・親睦行事	66	70	蹴初め、新年会、交流試合等
9) 慶弔費	0	10	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	28	30	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 高校生活活動費支援	150	150	活動費等補助
12) 附属中活動費支援	100	150	〃
13) スクラムマシン購入	0	200	老朽化で使用不可のため更新
14) 応援・勧誘グッズ等作成	138	50	
15) (RWC2019 観戦ツアー)	276	0	2020 執行予定なし
16) (附属中部旗作成)	85	0	〃
17) 予備費	38	20	
計	1,577	1,100	前年比 -477千円

4. 令和2年度 収入見込

(単位:円)

	年会費(納入者)		広告料(納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和元年度予算	700,000	150人	260,000	14件	960,000
〃 決算	746,000	127人	216,000	13件	962,000
令和2年度予算	770,000	135人	230,000	14件	1,000,000 (前年比104%)

※歳入の不足分(100千円)は繰越金で補填

5. 役員改選(案) 任期:令和2年度~3年度 ※全員留任

役職	氏名	卒年度	役職	氏名	卒年度
会長	黒沢 祐士	昭和50年度	幹事	本田 浩一	平成2年度
副会長	山本 宏	昭和51年度	幹事	尾又 彰彦	平成2年度
副会長	益子 俊志	昭和53年度	幹事	助川 覚	平成5年度
副会長	柴田 和則	昭和57年度	幹事	原 正紀	平成6年度
幹事長	木下俊雄	昭和54年度	幹事	鈴木 祐輔	平成7年度
幹事	鶴巻 仁	昭和57年度	幹事	加藤 順大	平成8年度
幹事	黒澤 次郎	昭和58年度	幹事	樋本 吉和	平成8年度
幹事	笠井 知洋	昭和59年度	監事	橘 恒弘	昭和62年度
幹事	平澤 慎二	昭和59年度	監事	長谷川 将大	平成20年度
幹事	高橋 晃太郎	昭和61年度	事務局長	金澤 勉	平成4年度

○ OB会から現役部員に「スクラムマシン」を贈呈！！

《特別員会務報》

部員たちが長年使ってきたスクラムマシンが、老朽化のため遂に使用に耐えなくなりました。

修理も検討しましたが傷みがひどく、買い替えるにしても高額なため、あちこちに相談しながら知恵を絞った結果、最終的にはOBの力を借りることに。

林業を営んでいる樋本氏（平成8年度・第49回卒）には工賃のみでマシン本体の製作を、塗装業を営んでいる本田氏（平成2年度・第43回卒）には実費で塗装をお願いし、格安で堅牢なスクラムマシンが出来上がりました。

8月30日（日）午前10時、部員24人とOB多数の出席の下、贈呈式を開催

黒沢会長と本田・樋本の両OBによるシーートの除去が行われると、部員たちからは期せずして拍手が巻き起こり、さっそくスクラム練習。チームカラーの黒と黄も鮮やかな、新スクラムマシンのお披露目となりました。



【グラウンド整備用の軽トラックも更新】

併せて、これも長年グラウンド整備に使用してきた軽トラックがいよいよ動かなくなったため、野球部・サッカー部と折半して更新することになり、OB会がその費用を負担しました。

重い金属でできた「グラウンドならし」を軽トラックで引き回して、グラウンドを平らにするものです。

職初めの後、先生がグラウンドを引き回している光景が思い浮かびました。



○ 令和2年度 遠征夏合宿は福島県郡山市で実施

連日35℃前後（一気象台発表につき体感温度は40℃近く。）の猛暑の中、日立一高ラグビー部は福島県郡山市の「磐梯熱海スポーツパーク」で8月9日（日）から12日（水）まで3泊4日の夏合宿を実施しました。

郡山北工業高校（令和元年度を含めて全国大会4回出場）との合同練習・練習試合が中心で、そこに山形中央高校（全国大会25回出場、全国7人制大会5回出場）、仙台高等専門学校（旧宮城高専時代を含めて全国高専大会優勝14回）、安積高校（全国大会2回出場）が加わって、三つ巴・四つ巴で練習試合を行いました。

OB会からは、10日（月）は黒沢会長と木下幹事長が、11日（火）～12日（水）は尾又顧問・木下・柴田（+柴田 Jr.）・根本（伸）が参加し、氷の差入れや激励・指導を行いました。保護者の皆様も、連日多数が応援に来てくださいました。

試合結果は以下のとおりです。実力の接近したチーム同士の対戦であることと、猛暑のため9日（日）と12日（水）は20分ハーフ、10日（月）と11日（火）は10分ハーフで行ったため、いずれもロースコアとなっています。

東北地方特有の、ゴツゴツと激しく粘り強いFWのアタックには苦しめられましたが、秋に向けてFWの良い強化ができたのではないかと思います。（山形中央高校は、FW・BKのバランスの取れたチームでした。）

また、今年はコロナ禍の影響で、新人戦終了後はほとんど試合が組めなかったこともあり、貴重な実戦経験を積むことができました。

【試合結果】

8月 9日（日）	vs. 安積高校	0-7	vs. 郡山北工業	0-5
10日（月）	vs. 山形中央	0-7	vs. 郡山北工業	0-0、7-0、0-7
11日（火）	vs. 山形中央	0-7	vs. 郡山北工業	12-0、vs. 仙台高専
				0-10
			（1年生マッチ）日立・仙台 4-0、4-0 郡山・山形（数字はトライ数）	
12日（水）	vs. 郡山北工業	0-5、0-0		



○第16回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第16回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮って御参加ください。

1. 日 時 11月28日(土) 午前9時集合
9時43分スタート
2. 場 所 五浦庭園カントリークラブ
いわき市勿来町窪田大槻193-1
Tel: 0246-65-0011
3. 費 用 10,000円(プレイ費+参加費)



※毎回開催し、御好評をいただいている村山氏宅でのパーティですが、大変残念ながら、今回は新型コロナウイルス感染防止のため開催しないことといたしました。 【ゴルフコンペ幹事: 笠井知洋 Tel: 080-5057-3065】

○OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。

今回は、橋恒弘さん・高島真輔さんのお二人にお願いしました。お忙しい中をありがとうございました。

「Fun」 橋 恒 弘 昭和62年度・第40回卒

日立一高ラグビー部ファンクラブ会員ナンバー1番(自称)。ファンクラブ歴6年ちょっと。これが今の私の経歴だ。

卒業以来ずっと一高ラグビー部とは遠ざかっていた。もちろんOB会事務局からの蹴り初めなどのハガキもスルーしていた。(申し訳ありません)

そんな自分が何故こうなってしまったのか。不思議なものである。きっかけは間違いなく一本の電話。そう、当時附属中に赴任したばかりの同期のN本先生からの電話だ。「体のでかい子が入ってきたんだけど、当たりの台になれるやつがないんで、来て相手してくんない？」という話だった。

正直、体は卒業以来あまやかしてきたので、できるわけない。無理と思った。まあそれでも一回ぐらいは顔を立てるつもりで週末の練習に顔を出した。

するとそこには礼儀正しく、目がキラキラする子供達がいるではないか。真剣に向き合い、楽しそうに練習をしている子供達の姿が目映った。今でもラグビーができるか不安はあったが、なんとかごまかしながらではあるが体は覚えていた。やはりラグビーは楽しい。現役時代はつらく、逃げたく、どうやってサボろうかとばかり考えたものだったが、この歳になって初めて楽しく感じたのだ。

以来、練習にハマってしまった。子供達も可愛いくてたまらない。そしてハマること数年後、エスカレーターに乗り子供達は高校へ。そうすると自然と高校へも足を運んでしまう。たまにしか行けないが、子供たちは見るたびに間違いなく心身共に成長しているのが判る。近年中学、高校と実績を伴いながらレベルアップしている。嬉しいかぎりであり、今後の成長も非常に楽しみだ。

ところが、今年はどうだ。勢いがとまらないコロナ。一高ラグビー部だけではなく、日本中、世界中を巻き込むウイルス。東京五輪、パラリンピックの延期を筆頭として、各競技の大会中止。学校の休校、外出の自粛要請。など



などスポーツの環境も厳しい状況下にある。そしてなによりも練習に明け暮れた子供達の発表する場所がない。なんとも言いようがないが、幸い全国大会予選は開かれるそうだ。是非やり切って欲しい。

最後に、以前の私のようにスルーしているOBの皆様、たまには遊びに来てみませんか？地獄のようだったグラウンドに来てみるのも懐かしく楽しいものですよ。週末でしたら、OBの誰かは来てます。雑談するもよし、練習に参加するもよし。新たな会員？お待ちしております。

「夢に向かって」 高島 真輔 平成21年度・第62回卒

ラグビーに出会って13年が経ちました。

入部したてのころは平パスが上手く投げられるだけで喜び合い、次第にラグビーの魅力に引き込まれていったことを懐かしくも鮮明に覚えています。

運動神経はお世辞にも良いとは言えず、ただガムシャラにボールを追いかける泥臭いプレースタイルでしたが、今思えば自分の性格にピッタリだったのではないかと思います。

3年間勉強することなく、ただひたすらにラグビーに打ち込んだ日々は、自分にとってかけがえのない青春の日々でした。もちろん、現役の選手たちには、勉強とラグビーの両立をして欲しいですが。

私が高校に入学した平成19年は創部61年目であり、「古豪復活」を合言葉に橋本先生を中心に、OBの諸先輩方が足繁くグラウンドに来てくださり、練習相手になってくださいました。

もちろん敵うはずもなく、練習は辛くなるばかりで、現役の頃はOBの方々がグラウンドに来られると、なんとも言えない感情になりました。しかし、そのような時代に日立一高でラグビーができたという経験は、自分を大きく成長させてくれた大切な思い出です。

現在私は、幸運にも磯原郷英高校で前日立一高監督の多辺田先生とともに、ラグビーに携わることができています。

現日立一高監督の、鈴木康之先生の前任校そして出身校でもある伝統ある学校で、日立一高と共に夏合宿や練習試合を行うことができている今の環境は、自分にとって幸運としか言い表せません。

たくさんのOBの諸先輩方がグラウンドに通い、選手だけでなく私にもアドバイスを下さる今は、高校時代と何も変わることなく恵まれた環境です。

日立一高で学んだラグビーの基礎や精神は変わることなく、自分の血肉となっています。

いつかは日立一高に戻り、ラグビー部に関わりたいという「夢」を叶え、日立一高ラグビー部の伝統ある血潮を繋ぐことができるように、今はたくさんのことを吸収し日々勉強していきたいと思っています。



○ 父母の会だより

父母の会会長 志賀 亜貴子さん（志賀佑輝くん（3年）の母）

OBの皆様には日頃より現役部員へ献身的なご指導と多大なご支援をいただき心より感謝しております。

今年は昨年からの勢いそのままに、関東新人大会に出場することができました。

関東では初戦で敗れましたが、他県の強豪との試合を経験することで子供達にも大きな自信が芽生えたように思えました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で学校休校、関東大会県予選と7人制大会も中止となり、一時はラグビーどころではない状況となってしまいました。

何もかもが自粛となった事で子供達にとって目標とする試合が

無くなり、特に3年生は受験との両立を続けていく上で、モチベーションの維持が難しい状況になったのではないかと感じています。当然のことながら親にとっても公式戦が無くなることで、試合でのプレーに一喜一憂する機会がなくなったことはとても寂しく感じておりました。



【OBでもある夫：和義さんと】

そんな中、鈴木先生のご尽力により福島県での夏合宿は、久しぶりにグラウンドでラグビーする子供達を見る機会となりました。猛烈な暑さの中ではありますが、久しぶりにボールに食らいつく部員達の姿は、高校生本来のあるべき姿を確認できた貴重な時間であったと感じています。

きっと部員達、とりわけ3年生にとっては、奪われた時間を取り戻し目標に向かう気持ちを高めてくれる素晴らしい時間であったと思います。厳しい環境の中、子供達の体調管理を行いながらご指導いただいた鈴木先生、照沼先生、そして福島まで足を運び部員達にご指導いただいたOBの皆様には感謝の思いで一杯です。本当にありがとうございました。

これからは『with コロナ』と言われる世の中となり、ラグビーを取り巻く環境も変わるかも知れませんが、父母会としてその時々ができるお手伝いのできればと思っております。

最後に人生における貴重な高校生活3年間に日立一高ラグビー部に所属した部員に、様々な面で厚くご指導いただいたOBの皆様のご健勝と、OB会のさらなる発展を祈念いたします。

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。（「無観客」で実施されます。）

令和2年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。（※今大会も「第2シード」です。）
詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブックをご覧ください。

第1戦（準々決勝）	10月25日（日）	10：15	堀原運動公園競技場	vs	常総×下妻一と太田一の勝者
第2戦（準決勝）	11月 1日（日）	12：20	〃	vs	清真・勝田工のブロックの勝者
第3戦（決勝）	11月 7日（土）	13：00	ケーズデンキスタジアム水戸	vs	茗溪・牛久・秀英の ブロックの勝者

今シーズンは春先からのコロナ禍による活動休止により、どの学校もチーム作りには苦慮していると思われます。

しかし、多くの高校生がインターハイの中止等によって活動の場を失う中、大会出場が叶うだけでも幸せなことです。

現役の皆さん、ベストを尽くして、そして頂点を目指して頑張ってください！！

残念ながら「無観客」での大会開催につき学校関係者と保護者以外の観戦・応援はできませんが、グラウンドの外から、あるいは日々の練習を通して、現役部員を応援・支援していきましょう！！



【昨年度の県予選決勝戦（vs. 茗溪学園）】

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化を図るため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。（次頁をご参照ください。）

広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は12人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計208,000円のご協力をいただくことができました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。

日立一高ラグビー部OB会報 第23号（令和2年10月1日発行）

発行責任者：幹事長 木下 俊雄（昭和54年度 第32回卒）

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

石井米店
 店主 石井 博美
 (昭和41年度 第19回卒)
 〒318-0021 高萩市安良川270番地
 電話: 0293-22-3157

尾又運送株式会社
 代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)
 代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)
 〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号
 電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石
 代表取締役 杉浦 巖夫
 (平成7年度 第48回卒)
 〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2
 電話: 0294-33-0359

鈴菊商店
 代表 鈴木 真治
 (平成2年度 第43回卒)
 〒319-1701 北茨城市平潟町293番地
 電話: 0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店
 橘 恒弘
 (昭和62年度 第40回卒)
 〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号
 電話: 0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所
 代表社員弁護士 萩原 慎二
 (平成4年度 第45回卒)
 〒308-0041 筑西市乙828番地の3
 SATOHビル2階
 電話: 0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会
 会長 志賀 亜貴子
 (ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています!

(事業所名はアイフエオ順)

株式会社岡部工務店
 代表取締役 岡部 英明
 (昭和51年度 第29回卒)
 〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号
 電話: 0294-36-1681

株式会社オンサイド
 代表 中小企業診断士 松崎 暢之
 (昭和63年度 第41回卒)
 〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号
 電話: 03-6277-5309

株式会社 カントウスプレー
 代表取締役 本田 浩一
 (平成2年度 第43回卒)
 〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号
 電話: 0294-22-0807

株式会社 トップベイスーパー
 代表取締役 後藤 秀次郎
 (昭和41年度 第19回卒)
 〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号
 電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店
 店主 古口 利博
 (昭和39年度 第17回卒)
 〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号
 電話: 0294-21-0971

村山商店
 代表 村山 功
 (昭和42年度 第20回卒)
 〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1
 電話: 0293-46-0172

日立一高ラグビー部OB会 役員会
 会長 黒沢 祐士 ほか
 (昭和50年度 第28回卒)

